

ねやがわ議会だより

ことだま

11
2025
[vol.263]



誌面のご案内

| | |
|----------|-----|
| 定例会のあらまし | 1 |
| 一般質問 | 2~6 |
| 議決結果一覧 | 7 |

9月定例会を開催

- ・ 29 件の議案を審議
- ・ 一般質問で議員 21 人が登壇



会期 9月2日～9月26日 (25日間)

9月定例会

議案審議

| | |
|---|--|
| <p>市長提出議案 … 28件</p> <p> 決算 …… 8件</p> <p> 報告 …… 3件</p> <p> 条例 …… 2件</p> <p> 予算 …… 5件</p> <p> その他 …… 9件</p> <p> 人事 …… 1件</p> | <p>議員提出議案 …… 1件</p> <p> 附帯決議 …… 1件</p> |
|---|--|



寝屋川市立こども図書館条例の制定

子どもの読書活動を推進し、併せて子育て支援を行う施設として、こども図書館を設置するため同条例を制定する。

主な制定内容

- 子どもや子育てのための図書の利用や一時預かり事業等を行う。
- 読書スペースや自習スペース、子どもの遊びスペース、一時保育スペース等の施設を設ける。



議員10人が附帯決議案を提出

本会議最終日に、議員10人から寝屋川市立こども図書館条例の制定に対する附帯決議案が提出されました。(全文は右のQRコード参照。) 審議の結果、賛成少数で否決となりました。

※附帯決議・・・可決された条例等の施行に当たっての要望等を表明する決議。



主な議案の概要

令和7年9月定例会では、議決を要するすべての市長提出議案を可決・承認・同意としました。

対馬江大和線整備事業の追加補正

【補正額】 **7,800万円**

地下埋設物の影響により、一旦見送っていた対馬江大和線における植樹について、植樹可能な工法等が整理できたことから、メタセコイア(16本)を植樹する経費の追加補正を行う。

植樹の工法及び箇所数

- ・直植タイプ 5箇所
- ・高上タイプ 11箇所



動物舎設置工事に係る設計業務委託

【補正額】 **320万円**

保健所機能の保健福祉センターへの集約に伴い、保健福祉センターの地下駐車場内に動物舎を整備するための、動物舎設置工事に係る設計業務経費。

動物舎運用開始時期(予定)

令和8年10月から



大阪維新の会議員団

保身ではない政治を

奥大輔 川口肇人 瀬戸健太 中川健 福田篤志 古田尚央

いわゆる「特区民泊」の認定離脱表明の影響について

問 認定離脱が認められた場合、既存の特区民泊施設はどの様な取扱いになるか。また、そのことを事業者とどの様な話し合いをしているのか。

答 本市が特区民泊事業の認定を取り消さない場合、事業者側に変更手続が生じない限り営業が継続できると認識しているが、方針が整い次第、特区民泊事業者に説明を行う。

問 特区民泊以外の民泊をどの様に取り扱うのか。

答 旅館業法や住宅宿泊事業法の各法令に基づき適切に対応していく。

問 簡宿民泊事業者や海外からの宿泊者をないがしろにしているのでは。

答 特区民泊は、子育て世代から「選ばれるまち」を目指し住宅都市として新たなブランド構築を進める「いま」の本市には不要と判断したが、他の民泊への言及は一切していない。

地域包括支援センター・介護職について

問 主任ケアマネの慢性的な人手不足について見解は。

答 地域包括支援センターの職員募

集への応募が非常に少ない。独自の処遇改善加算の設置・拡充、募集チラシの作成など、対策を講じている。

問 地域包括支援センターに愛称をつけてはどうか。

答 地域包括支援センターの名称が地域で根付いている事から個別の愛称を採用する予定はない。身近で相話しやすい存在となるよう努める。



福祉の拠点となる地域包括支援センター

中央高齢者福祉センター旧館閉館に伴う体操教室の継続について

問 閉館後、現在の体操教室をどの様に継続するのか、代替会場確保は。

答 体操教室は、地域包括支援センターへの委託業務であるため、閉館後も連携して、実施場所を確保する。

問 有料施設に移る事で参加者に費用負担が発生するのではないかと。

答 開催場所が変更となっても地域包括支援センターへの委託業務となる事から費用負担は無いと考える。

問 現在、参加者の最大の不安は先行きが見えない事である。今後の方向性や検討状況についてどの様に情報提供していくのか。

答 現在、東北コミセンへの集約に向け精査している。引き続き、利用者丁寧に丁寧な説明となるよう努める。

共同親権について

問 令和6年度の離婚率・離婚件数・未成年の子どもの人数を伺う。

答 離婚率は31.3%、離婚件数は653件で、その内未成年の子どもの人数は389人である。

問 男女共同参画が実施するセミナーにおいて親子断絶を助長しかねない女性限定の離婚セミナーは中止すべきと指摘をしてきた。本年度のセミナー内容はどの様になっているのか、子どもが置き去りの女性限定の離婚セミナーの開催の有無を伺う。

答 女性限定の離婚セミナーは予定していないが、離婚に関わる法律や手続きなどの知識の習得ができるセミナーは必要と考える。

問 入学式、運動会への参加を同居親の要望のみを学校側が受け入れ、

成績表や写真、ビデオの記録も提供されず、別居親が自身の子ども様子を全く把握できないという誤った判断を下した寝屋川市内の学校があった。別居親に対し現在も同様の対応をしているのか。

答 子どもの状況を一番に考え、すでに各学校には民法改正内容の周知も行い、学校と教育委員会が連携した対応を行っている。

総人件費管理計画について

問 DX推進等で人件費が減った場合、代替コストを総人件費に含めて計算するところがあるが、積算根拠等の方法を公開する予定はあるか。

答 各年度の基準財政需要額に対する総人件費の比率の公表に合わせ、総人件費に含めた代替コスト分の内容等についても示していく。

問 正規職員数の現状と今後の予定について伺う。

答 令和7年4月時点の正規職員は1225人、前年度4月の1207人から18人の増加。今後も総人件費管理計画に基づき、実質的な市民負担を増加させないため、総人件費と行政需要のバランスを図る事を基本として適正な職員数を確保する。

市内における公共交通の現状と今後について

問 10年前と比較してバス路線の減少数を伺う。

答 12系統が減少している。京阪バスの路線減便について唐

突に報告されるケースが見受けられる。路線減便に関する報告において、その流れとタイミングを伺う。

答 減便の場合は3か月前までに近畿運輸局に届け出が必要であることから、過去、届け出と同時期に報告が

あったが、現在は届け出の1か月前に事前報告を求めている。

問 京阪バスの赤字路線・黒字路線の割合を伺う。

答 黒字路線4割に対して赤字路線6割であり、10年前と変化はない。

公明党市会議員団

**『現場第一主義』で
社会に希望を届ける政策を実現！**

村上 順一
岡 由美
坂口安喜子
高見 雄介
武田由利子
辻谷 恵一

夏季休業日を元に戻す事について

問 学校校舎棟最上階の普通教室はエアコンの設定温度を18℃にしていても34℃を記録した。来年も今の状況が続くことは濃厚であり、夏季休業日を7月21日から8月31日までに戻すことを求めるが見解を問う。

答 様々な観点から総合的に判断する必要があるものと認識しており、引き続き、学校における暑熱対策を含め、検討していく。

快適な学校環境等について

問 学校校舎棟最上階普通教室のエアコン更新の予定について問う。

答 至急の対策が必要であると判断した教室の窓への遮熱フィルム貼付や空調の室内機の清掃、室外機周辺環境整備などを実施した。今年度中に対応が可能なものと、新たに予

算措置を必要とするものを精査し、来年度の夏を迎えるまでに必要な設備改修等を行うとともに、更新時期について検討していく。



学校の窓に遮熱フィルムを貼付する様子

プレコンセプションケアについて

問 子ども達のSNSによる危険な行為の認識及びプレコンセプション

ケアの啓発について見解を問う。

答 SNSによる危険な行為の認識については、学校が認識した時点で、教育委員会に報告があり、必要に応じて警察等と連携して対応している。プレコンセプションケアの啓発については、子ども達が将来にわたり健やかに生活を営んでいくために重要であると認識しており、今後、中学校の保健の授業において、学ぶ機会を確保し、教育内容の充実を図っていく。

学校現場の不当な要求について

問 教職員を守るため、市においてカスマーハラスメント防止条例制定について見解を問う。

答 市民生活に影響する様々な迷惑行為を防止する条例について検討しているところであり、その中でカスマーハラスメントへの対応についても併せて検討をしている。

誰もが安心して搾乳ができる環境づくりについて

問 授乳室や赤ちゃんの駅は、搾乳利用が可能である場所であることの明記や誰もが解るマークの活用を提案するが見解を問う。

答 搾乳を必要とする方が外出先や職場でも安心して搾乳ができるよう、理解を深め、環境を整えていくことが必要であると認識しており、市サービスゲートをはじめ、公共施設にある授乳室や赤ちゃんの駅においてマークの活用を進めていく。

アピランスケアの拡充について

問 脱毛症状等の外見の変化に悩む子どもたちのために、ウィッグの購入や買い替えの支援について見解を問う。

答 先天性疾患や病気等に伴う、治療が困難な脱毛症等の外見の変化に悩む子どもたちの身体的、精神的負担や不安を和らげるための支援の在り方について検討していく。

骨髄バンクドナー登録の普及啓発について

問 日本骨髄バンクが実施する「語りべ講演会」を各中学校や市のイベントで開催することについて見解を問う。

答 ドナー登録の普及啓発を広報誌やホームページ、SNSを活用して実施しているところであり、引き続き、普及啓発のための取組を進めていく中で調査研究していく。

予防医療について

問 本市の医療費の現状と将来予測を踏まえ、予防医療に投資する効果について見解を問う。

答 医療費の令和6年度の1人当たり費用額は約41万8千円で、対前年度比98.6%だが、コロナ前の令和元年度と比較すると、104.4%と高くなっており、大阪府の推計においても1人当たり医療費は年々高くなる傾向が示されていることから、これまでの取組の継続推進により、病気の未然防止や早期発見・早期治療を促進することは、その効果

として、医療費の適正化に資するものと考えます。

問 介護現場などでの警察OBの活躍の場について

答 「人材バンク」での活用が可能であると考えており、特に警察OBの知見を保育現場に活かすことは、こどもの安全確保に大変有効であることから、警察OB関係機関に積極

自由民主党市会議員団

未来を見据えた安全安心な

まちづくり (自転車通行・給食)

- 金子 英生
- 北川 千尋
- 北川 健治
- 森本雄一郎

都市計画道路対馬江大利線について

問 対馬江大利線は自転車の通行帯が整備されるも、多くの自転車が歩道を通行している。道路の設計上、自転車が歩道を通行することについて問題は無いのか。

答 歩道を自転車歩行者道とする場合、歩行者が多い道路は4m以上の歩道有効幅員が必要。現状は歩道有効幅員が3・5mと、自転車を通行させることができない構造である。

問 現状の解決策について問う。

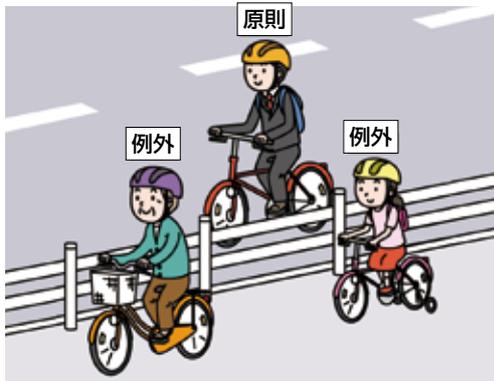
答 自転車は車道を通行する必要がある事を広く認知してもらうため、啓発看板の設置等を行い、警察と連携し市民の安全を守るため取り組む。

問 自転車歩道通行できる場合はどういった場合か。

答 道路交通法施行令では、13歳未満の児童及び幼児、70歳以上の方、完全に車道を通行することに支障が生じ

躍について見解を問う。

答 「人材バンク」での活用が可能であるとされており、特に警察OBの知見を保育現場に活かすことは、こどもの安全確保に大変有効であることから、警察OB関係機関に積極



自転車の交通ルール

る身体障がい者の方が認められている。

問 有事の際、明確に場所を通報することができると、友呂岐水路に架かる橋への名称を要望する。

答 名称を検討し、橋名板の設置に向け、早急に取り組む。

打上川治水緑地について

問 8月24日に発生した浸水の原因は、

的に協力を求め、こども部と連携し検討を進めていく。

「戦争と平和」について

問 戦争と平和に特化した展示会の開催に対する見解を問う。

答 市東部地域等における降雨の影響による寝屋川及び打上川の水位上昇に伴い、雨水貯留機能が働いたことによるもの。

問 今後の異常気象を考慮した場合、治水緑地が氾濫する可能性は。

答 先日の降雨では、貯留率約5%であり、有効貯留容量27万tまでは治水できるものと認識している。

問 打上川治水緑地再整備後、多くの方の来場が想定される。仮に大雨で治水緑地が浸水する場合の警報システムや避難誘導体制について問う。

答 今後の安全対策について、大阪府と協議を行っている。

問 先日の寝屋川まつりでは、注意報が出てから浸水が始まるまで、短時間であった。避難計画の策定の必要性について問う。

答 今後、大規模な催物の利用者に対し、避難計画等の義務づけを考慮しており、安全確保等に努めたい。

給食で摂取できる栄養素等について

問 学校給食で摂取できる鉄分は、文部科学省が定める基準をどれくらい満たしているのか。

答 鉄分摂取の達成率は約80%である。基準をクリアしていない栄養素

答 「人として当たり前に生きる権利を考えるつどい」において、戦争遺品の展示等をしており、戦後80年となる今年度は、新たに、戦争疑似体験等の取組を予定している。

はどれほどあるのか。達成できていない要因をどう分析しているのか。

答 脂質、カルシウム、鉄分、ビタミンB₁、ビタミンCであり、使用できる食材が限られることや、安全性やコスト、栄養バランスの面で、使用が難しいことなどが考えられる。

問 補助食品や栄養強化食品の導入などはしているのか。

答 ビタミン強化米など、既に組み込んでいる内容もあるが、今後も食材から必要な栄養素を摂取することを基本に検討していく。

健康福祉常任委員会管内視察を実施

日程 8月7日(木)
視察先 寝屋川市第三中学校区地域包括支援センター
寝屋川市第八中学校区地域包括支援センター

◆視察参加者

- 委員長 久野須賀子
- 副委員長 武田由利子
- 委員



- 川口 肇人 古田 尚央
- 高見 雄介 森本雄一郎
- 西尾 勝成 中林 和江

シン・ネヤガワ議員団

今日より明日、

夢と希望の持てる社会へ

馬場 才
西尾 勝成
板東 敬治
久野須賀子

インフレ、かつ、高齢者が3割

問 「インフレかつ3割が高齢者」という社会は、有史以来初めて、インフレ対策は「労働者世帯」と「労働者のいない世帯」の両者への取組が必要と考える。労働者のいない世帯に向けた支援への見解は。

答 セーフティネットの確保は、税の再分配機能を有する国が行うものと認識している。国の方向性を踏まえ、支援策の要否等を検討する。

問 企業の研究開発、商品開発の強化への後押しを行政は惜しんでならない。企業支援の検討状況は。

答 現状の補助内容を精査するとともに、より効果的な事業者支援の検討を進めているところである。

**市民大訓練の結果を
新しい防災・減災へ**

問 市民大訓練の結果を踏まえ、各校区地域協働協議会はどのような目的を持って取り組むのか。

答 各地域の課題抽出と解決のため3か年計画を作成して頂いている。

問 個別避難計画を活用した図上訓練や実施訓練の必要性への見解は。

答 個別避難計画が実効性のある「真のある計画」とするため引き続

き関係課と協議を重ねていく。

保育士確保の緊急的措置として

問 公立と同様の民間園の人材派遣事業に対する補助の必要性を問う。

答 補助制度は考えていないが、優秀な保育士が、長く働ける仕組みや新たにシニア層が参画できる人材バンクの仕組みを検討している。

人口増の内訳と外国人共生社会

問 令和6年の転入超過431人のうち外国人住民は301人であるか。

答 そのとおりだが、転入超過は日本人の社会増が大きな要因である。



避難経路の確認

問 「外国人のための生活ガイド」を最新版にする必要性は高いのでは。

答 本年度中の情報充実に努める。

高専跡地の住宅方針に待った!

問 隣接地への雨水流出の懸念は。

答 既設貯留機能の維持か代替を前提とした提案を求めている。

問 府の条例に土地を公共施設に用いる場合は優遇制度はあるのか。

答 府の規則に5割減額の規定があるが、現状では運用されていない。

問 市民の意見はないのか。

答 大学誘致や芝生広場の提案、また住宅地反対といった意見があった。

問 市民アンケートは行わないのか。考えていない。

公共施設の延べ床面積は広い?

問 公共施設・都市インフラのコストを、30年で100億円規模の抑制ができるよう改善策を提言してきた。公表された計画の改定版では、負担が30年で300億円以上増加と推計されている。施設総量をダウンサイジングする方向だが、公共施設の市民1人当りの延べ床面積の府内自治体の平均値と高い値からは何番目か。北河内7市、中核市では何番目に多いか。

答 府内の平均値は3・04㎡、順位は43市町村中42番目。北河内7市では6番目。中核市では62市中60番目。

7月臨時会で決定

寝屋川市暴力団排除条例の一部改正及び関連予算を可決

令和7年7月14日(月)に7月臨時会を開催し、暴力団事務所の開設及び運営の禁止などについて定めるための条例の一部改正、暴力団排除推進アドバイザーに係る経費についての補正予算を審議し、可決しました。

本会議を録画配信しています!

市議会で開かれる本会議の様子は、インターネットで録画配信しています。市議会ホームページの「本会議録画配信」(下のQRコード)から視聴できます。

議会だよりの誌面では、お伝えできなかった議案の審議や一般質問の様子を御覧いただけます。



日本共産党市会議員団

みんなファースト

外国人は共にくらす仲間です

外国人優遇はありません

問 生活保護、医療、税金など外国人が優遇されている事実はない。市の施策で外国人優遇の事実があるのか。誤った情報については、市が正確な情報を知らせるべき。

答 市の提供する各種サービスに外国人を優遇するものはない。今後問合せ等があった場合は、市として正確な情報を発信する。



多文化共生の社会を

自転車を通える府立高校存続を

問 大阪では2040年までに府立高校を32校減らす動き。私学助成の充実とあわせ、自転車を通える府立

高校の存続を府に求めるべき。

答 府都市教育長協議会から府に對し、府立高校の存続を要望している。

生活保護裁判補償求める

問 2013年からの生活保護基準の引き下げは違法との最高裁の判決を受けた対応は。また、原告からの要望書への対応は。

答 補償等については国で検討中であり動向を注視する。要望書への回答は、現在事務を進めている。

介護従事者の確保

問 市として介護事業所の人材確保事業の支援の検討を求める。

答 人材不足の状況等を再分析し、実情に応じた手法等を検討している。

小中学校の教育条件の整備を

問 激化する暑さから子どもたちを守るため校舎の断熱改修を求める。

答 断熱化の早急対応は困難。来年度の夏までに必要な設備改修等を行う。

問 中学校の35人学級の実施を。来年度、中学1年生から実施。

自衛隊への名簿の提供の中止を

問 名簿提供は、自治体が従う義務

中林 和江
西田 昌美
松尾 信次

声の議会だより・点字版議会だより 発行しています

目の不自由な方のために、誌面の内容を録音した「声の議会だより」「点字版議会だより」を発行し、御希望の方に無料で郵送しています。

御家族やお知り合いの方などにお知らせください。お電話で申込みができます。



議会事務局 ☎072-824-0010(直通番号)

はなく中止を求めるが、見解は。必要情報提供を希望しない方からの申出があれば除外している。

議 会 日 誌

【8月】
13日 幹事長会

22日 議会広報委員会
25日 議会運営委員会

【9月】

2日 本会議(第1日)／予算決算
3日 予算決算健康福祉分科会
4日 文教生活常任委員会(※)
5日 総務都市創造常任委員会(※)
(※)各常任委員会終了後に予算決算常任委員会分科会を開催

8日 予算決算／議会運営委員会
16日 本会議(第2日)
17日 本会議(第3日)
18日 本会議(第4日)

22日 健康福祉常任委員会協議会
24日 文教生活常任委員会協議会
25日 総務都市創造常任委員会協議会
26日 議会運営委員会／本会議(第5日)／議会広報委員会

【10月】

1日 全員協議会
6日 予算決算健康福祉分科会
7日 予算決算文教生活分科会
8日 予算決算総務都市創造分科会
15日 予算決算／議会広報委員会

予算決算：予算決算常任委員会



9月定例会 議決結果一覧



| 議案番号 | 件名 | 議決結果 |
|-----------|---------------------------------------|----------|
| 認定第1～8号 | 令和6年度寝屋川市一般会計歳入歳出決算認定（他5特別会計、2公営企業会計） | 閉会中の継続審査 |
| 報告第7～8号 | 令和6年度寝屋川市一般会計継続費の精算報告（他1件） | 報告終結 |
| 報告第9号 | 専決処分の報告（令和7年度寝屋川市一般会計補正予算（第5号）） | 承認 |
| 議案第60号 | 寝屋川市立こども図書館条例の制定 | 可決 |
| 議案第61号 | 寝屋川市立図書館条例の一部改正 | 可決 |
| 議案第62～66号 | 令和7年度寝屋川市一般会計補正予算（第6号）（他4件） | 可決 |
| 議案第67号 | 工事請負契約の変更 | 可決 |
| 議案第68号 | 財産の取得（塵芥収集車） | 可決 |
| 議案第69号 | 財産の取得（消防団車両（小型動力ポンプ付積載車）） | 可決 |
| 議案第70号 | 財産の取得（庁内ネットワークパソコン） | 可決 |
| 議案第71号 | 財産の取得（校務用パソコン） | 可決 |
| 議案第72号 | 財産の取得（災害時用備蓄物資） | 可決 |
| 議案第73号 | 財産の取得（児童生徒学習用タブレット端末等） | 可決 |
| 議案第74号 | 令和6年度寝屋川市水道事業利益剰余金の処分 | 可決 |
| 議案第75号 | 令和6年度寝屋川市下水道事業利益剰余金の処分 | 可決 |
| 議案第76号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任 | 同意 |
| 議員提案第9号 | 議案第60号 寝屋川市立こども図書館条例の制定に対する附帯決議 | 否決 |

予定

12月定例会の案内

本会議・委員会は午前10時を予定しています。議事の都合で変更される場合があります。

※11月27日に議会運営委員会が開催されます。

市議会を 傍聴しませんか？

市議会が開かれる本会議・委員会の様子はどなたでも傍聴することができます。

詳細は市議会ホームページをご覧ください。



| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|---------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------|----|
| 11/30 | 12/1 | 2 | 3 本会議 | 4 健福 | 5 文教 | 6 |
| 7 | 8 総務 | 9 予算決算・議運 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 本会議 (一般質問) | 17 本会議 (一般質問) | 18 本会議 (一般質問) | 19 議運・本会議 | 20 |

健福：健康福祉常任委員会・分科会 文教：文教生活常任委員会・分科会
 総務：総務都市創造常任委員会・分科会 予算決算：予算決算常任委員会全体会
 議運：議会運営委員会